

環境放射能除染学会誌 第9回研究発表会 発表・聴講要領

1 はじめに

第9回研究発表会の開催は新型コロナウイルス感染症の影響を受け会場開催は中止いたしました。同研究発表会をWeb(オンライン)で開催することとなりました。そこで、本資料は、オンライン開催に向けて発表方法等を説明するためのものです。記載の情報は準備の状況等により見直しを行ってまいります。

2 会議システム Zoom について

本研究発表会ではオンライン会議システム『Zoom』を使って行います。このため、参加にあたっては、必要に応じて事前の準備が必要になります。内容については(1)準備をご参照ください。なお、昨今Zoomのセキュリティの問題が報道で取り上げられておりますが、「Zoom全学ライセンスにおけるセキュリティとプライバシーについて、京都大学情報環境機構 情報環境支援センター (<https://kyoto-u.github.io/online-edu/zoom-security>)」などで記載のとおり最新版アプリケーションの利用や設定等により安全な運用が可能であると学会としても判断しています。皆様におかれましてはアプリケーションの最新版へのアップデートなどの対応にご協力ください。

(1) 準備

- Zoom公式HP (<https://zoom.us/download>) により最新版のアプリをインストールしてください。所属機関のポリシーによりアプリをインストールできない場合は、Webブラウザでも参加可能ですが機能に制限がかかるものもあります。ZoomサポートではGoogle Chromeは制限の少ないブラウザとして記載されています (<https://zoom-support.nissho-ele.co.jp/hc/ja/articles/360021584812-Web%E3%83%96%E3%83%A9%E3%82%A6%E3%82%B6%E3%81%A7Zoom%E3%82%92%E4%BD%BF%E3%81%88%E3%81%BE%E3%81%99%E3%81%8B->)。
- Zoomのアカウントを作成する必要はありません。会議室の情報は後日案内いたします。
- パソコン内蔵のスピーカやマイクではハウリングが起りやすくなるため、外付けのイヤホンやヘッドホン、マイクの利用をお勧めいたします。

(2) 接続確認

- Zoom公式HPにテスト環境 (<https://zoom.us/test>) が用意されていますので、事前に接続確認をしてください。

(3) 操作方法

a) Zoom 会議システムのアクセス方法

システムのマイページにログイン後のプログラムに表示されるリンクをクリックすると以下の画面が表示されます。

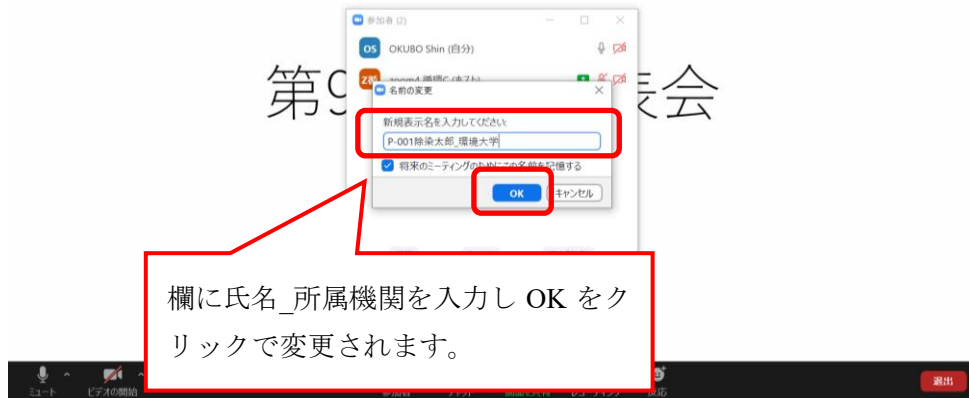


b) 表示する名前の変更

会議室入室後は必ず表示される名前を「氏名_所属機関 (例 除染太郎_環境大学)」と変更してください。発表者は氏名の前に発表番号を追記 (例 P-001 除染太郎_環境大学) してください。

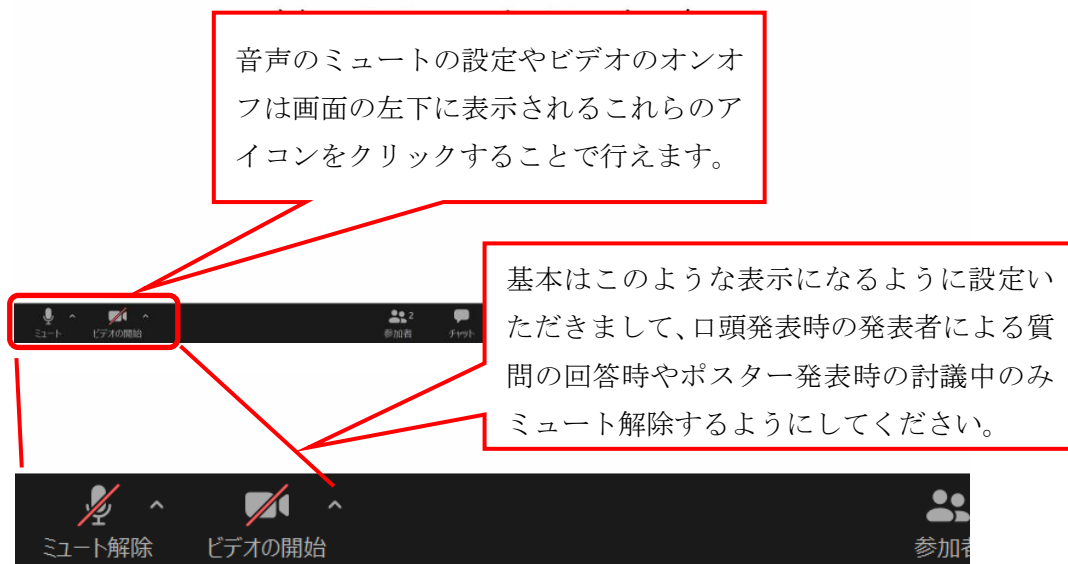


第9章 発表会



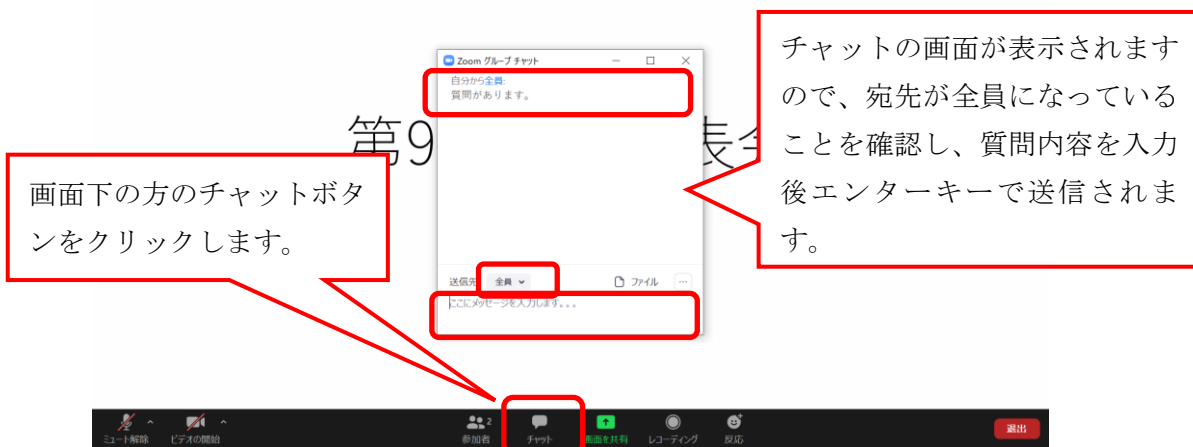
c) 音声・ビデオ

原則音声はミュート、ビデオの設定はオフとしてください。



d) チャット機能

口頭発表時に聴講者から発表者への質問はこのチャット機能を用いて行っていただきます。宛先は全員に向けて書き込みをしてください。



- ポスター発表時間は 60 分間です。発表者は割当てられた会議室で作成したポスターを画面共有し待機してください。
- 聴講者は会議室に入室後、質疑等を行いたいポスター番号（P-01 を聞きたいなど）チャット機能を使って案内係に伝えてください。会議室へ移動できます。
- 入室後他との会話がなければ声をかけ、説明を求めたり質問したりするなど、通常のポスター発表と同様に自由に討議を行ってください。
- ポスターは会期中いつでもマイページで閲覧することが出来ます。また、閲覧ページで発表者にコメントや質問を残すことが出来ます。

(3) マイページ機能

発表者ごとに以下のようなマイページが作成されます。事前に登録いただきました原稿、要旨、発表動画、ポスターが大会期間中は参加者に共有されます。共有された情報により参加者からコメントや質問を書き込むことが出来るコメント機能を有しております。コメントされましたら登録の E-mail に通知されますので、回答を入力するなど対応を行ってください。

International Congress DEMO

Sponsor

My page

Logout

Mr. Taro Sato

Paper Title: TitleTitleTitleTitleTitleTitleTitleTitle

Speaker: Taro Sato

結果と考察
位置課題のエラー率

- 交差車（ミラー内）の方がエラーが多い。
- ミラー方式による有意差はない。
- 両側ミラーの見にくさは、反応時間は遅らせても、エラーを増加させるほどではない。

Bar Chart Data:

車種	両側ミラー (n.s.)	ミラー内 (**)
交差車	~80%	~100%
対向車	~20%	~20%

Comment

Name Please enter message here.

コメント機能

Sponsor

Sponsor

Sponsor

企業展示

企業展示はポスター発表に準じて行います。

- 団体ごとに会議室（ブレイクアウトルーム）を設けます。マイページシステム(<https://sv1.award-con.com/srce200903/LOGIN.php>)にログイン後に表示されるプログラムのリンクからオンライン会議室に移動いただきます。



- 企業展示される方は、開始 10 分前には入室してください。案内係が会議室を割当ていたします。
- 企業展示は 60 分間を 2 日できます。概要や製品紹介のポスターを画面共有によりお待ちください。必要に応じて動画での説明も可能ですが途中からの参加者へのフォローをお願いいたします。
- 聴講者は会議室に入室後、説明を受けたい団体名をチャット機能を使って案内係に伝えてください。会議室へ移動できます。
- 入室後他との会話がなければ声をかけ、説明を求めたり質問したりするなど、例年の企業展示の要領で自由に討議を行ってください。
- また、マイページ上には出展者のバナーが表示され出展者 HP にリンクいたします。